

忍びの家の貴重史料「大原勝井家文書」

15世紀頃から19世紀頃まで現在の甲賀町大原上田に本拠を置いていた甲賀武士の家として大原勝井家があります。その家に500年以上にわたって受け継がれてきた古文書群は「大原勝井家文書」（個人蔵）と呼ばれ、総数は600点近くにのぼります。中世の掟書から忍術書、甲賀古士の書状、系図、村の年貢記録まで、一つの家に積み重なった甲賀の歴史がここに凝縮されています。

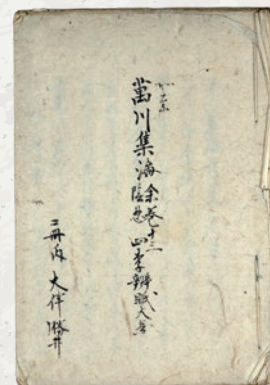
永禄13年（1570）の「定同名中与掟条々」には、大原の名を持つ族が守るべき掟32箇条が記されています。一族が危機に陥ったときは全員が駆けつけることや、敵への内通の禁止、毒殺・盗み・放火の禁止、さらには意見が割れたときは多数決と籤引きで決めるという合理的な仕組みまで定められており、戦国の世を知恵と結束で生き抜こうとした甲賀の人々の姿が伝わってくる内容です。

文書群には、甲賀流・伊賀流忍術の集大成とも称される忍術書『万川集海』もあります。昭和50年（1975）に影印刊行された著名な写本のほか、別系統の写本も複数確認されており、

他に見られない記述が随所に含まれています。

例えば眠気覚まし薬の処方や刀の下緒を使って槍を防ぐ術の図解などとともに、「潜伏中の忍者が、寝ている亭主が屁をこいたことを相棒に伝えようとして、大声をあげてしまい槍で突かれた」というエピソードも。家の中で忍術がどのように伝えられていたかが生き生きと感じ取れる貴重な史料が多く残っているのです。

このたび甲賀流忍術調査団によるこれらの文書群に関する調査報告書『大原勝井家文書―甲賀古士関係資料―』が刊行されました。甲賀市観光まちづくり協会（TEL・601-2690）または甲賀流リアル忍術館（TEL・701-2790）にてお問い合わせいただけます。ぜひお手に取ってみてください。



▲「かな万川集海」

問 歴史文化財課 調査普及係 ☎ 69-2250 ☎ 69-2293

どうする？ わが家のこれから

空き家にしないためのヒント



vol.3

家財や仏壇はどうする？

「家財整理」はすべてのスタートラインです。

家を「売る」、「貸す」、「解体」する。どの選択をする場合でも、まず家財整理について考えることになります。

家財が残ったままだと、空き家を相続しても売却や貸し出しが進まないこともあります。

また、仏壇の整理には「性根抜き」が必要とされています。

家族や親族が集まるお盆の時期に、実家の将来や家財整理などについて話してみませんか。

覚えておきたいポイント

- ✓ 家財整理・仏壇整理は空き家の利活用への第一歩
- ✓ 不用品は処分や買取を検討する
- ✓ 早めの整理が家族の負担軽減につながる
- ✓ 仏壇の整理は事前に寺院へ相談する

家財整理で出たごみはルールを守って処分しましょう

家財整理では、家具や家電など多くのごみが出ます。粗大ごみなどはルールを確認して適切に処分しましょう！



粗大ごみの捨て方はこちらをチェック



分別方法や収集日が確認できる「ごみ分別アプリ」も便利です！



問 住宅建築課 空家対策係 ☎ 69-2214 ☎ 63-4601



地域共生社会の芽吹き

20年後の社会は、地域における支え合いの基盤となっていた地縁・血縁・社縁といった繋がりが弱くなると言われています。このコラムではそんな未来を見据え、地域の困りごとを住民主体で受け止めていく「芽吹き」とも言える活動を紹介합니다。

ボールひとつで誰もが笑える居場所～放課後キョロ～

毎週水曜日の18時から20時頃まで、「まる一む」で開かれる「放課後キョロ」。サッカーを楽しむ人、おしゃべりをする人、ベンチでのんびり過ごす人など、それぞれが思い思いに過ごせる居場所です。

活動のきっかけ

活動を始めたのは、「キョロちゃん」の愛称で親しまれる松野恭輔さん。仕事や子育てに追われるなかで、「気軽に参加できる居場所があれば」と感じた経験から、「参加する資格や条件を問わない居場所をつくりたい」と活動を始めました。

未来につながる活動

ある日、参加していた小学生が、一緒に過ごしていた中学生に「運動会を見に来て」と声をかけました。周りは何気ない会話だと思いましたが、中学生は本当に運動会へ足を運び、小学生を応援したそうです。放課後キョロでは、こうした何気ない出会いが世代を超えたつながりへと育っています。人と人とのゆるやかなつながりが、地域の支え合いの芽吹きにつながっています。



「放課後キョロ」Instagram



▲放課後キョロの様子

問 地域共生社会推進課 地域共生社会推進係 ☎ 69-2155 ☎ 63-4085
市民活動推進課 市民活動推進係 ☎ 69-2218 ☎ 63-4085

